



PRIOS 440

GRIMME

PRIOS 440

モジュール式设计のおかげで、GRIMME PRIOS 440は多様な設備オプションとハイレベルな操作利便性を提供します。

中間フレームとセパレートリフティング機構に取り付けられたグースネックドロワーの助けにより、どのような一般的な土壌ティレッジ作業機でも土壌の耕起を行うことができます。それと同時に肥料、散粒機、畦トリートメント剤、液体シードドレッシング剤を、イモを植える際に適用することができます。新規に開発された「ハイブリッド」畦形成ユニット機器は、すべての土壌状態における畦形成と畦の形成要求の変更における高い柔軟性をお約束します。

PRIOSは以下の3つのバージョンをご利用いただけます：PRIOS 440、PRIOS 440 PRO、そして播種床耕起用のPRIOS 440



広範囲のコンビネーション

中間フレームとセパレートリフティング機構を伴う、EUタイプの承認されたグースネックドローバーのおかげで、異なる耕起用作業機どうしの素早い付け替えが可能です。土壌耕起の深度ガイダンスはポテトプランターから独立しています。これはつまりこの耕起の要求深度と、イモの植えつけ深度が常に正確に保たれることを意味します。



3メートルの道路搬送幅

3.00メートル未満の道路搬送幅のおかげで、グリメのPRIOS 440は、完全なEUタイプの承認を受けた、初の4畦ポテトプランターです。特別な道路搬送の承認はもう必要ありません。完全なEUタイプの承認がプラント間どころか国境を越えた使用を容易にします。



完全に油圧中枢の駆動

PROバージョンは油圧を軸とした駆動を持ちながら、油圧式単畦駆動もまたオプションとして利用可能です。このバージョンはファローオープナー、カバリングディスク、油圧アクスルスティアリングの自動油圧深度コントロールも備えています。



機械的な駆動と深度コントロール

ポテトプランターの機械的な駆動はシャシーのホイールに取り付けられた2つのドライブシャフトにより提供されます。それにより14から51cmまで（5.5から20インチ）イモの間隔をあけることができます。

ファローオープナーまたは、肥料ボックス付の構成では、肥料排出ディスクのどちらかに直接つながる2つのフィーラーホイールがファローオープナーの機械式の深度コントロールを確実にします。



「ハイブリッド」リッジ形成ユニット

「ハイブリッド」リッジ形成装置は、形成ボードとケージローラーの利点を兼ね備えています。これにより、安定して滑らかな側面、そして気孔のある畦上部の作成が可能になります。加えて、畦の構造は既存の土壌の状態に理想的に順応できます。





浸食からの保護

オプションで利用可能なTerraProtectがイモの畦の間にダイクと呼ばれる小さな横軸の畦を作成します。ダイクは浸食のリスクを防ぐとともに水の吸収も同時に促進します。



GRIMMEカッププランティングエレメント

GRIMMEのカッププランターは、畦内でのイモの正確で均一な配置において高い性能を実現する、操作しやすく頑丈なテクノロジーを提供します。



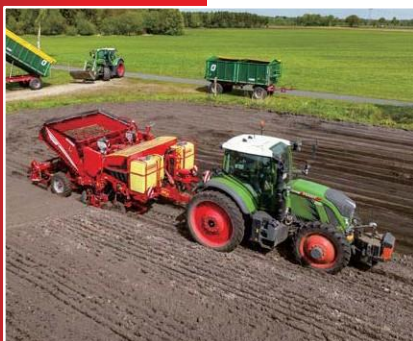
肥料ボックス

防水カバー付の1,700リットルの防水プラスチックコンテナが、多くの面積の作業をこなすことができる性能と、天候から肥料を保護します。頑丈なグリルが、肥料の詰まりまたはその他の混入物によって引き起こされる問題を防ぎます。カリブレーションキットが、肥料の多すぎまたは少なすぎを防ぐために肥料の量を精密に設定することを可能にします。



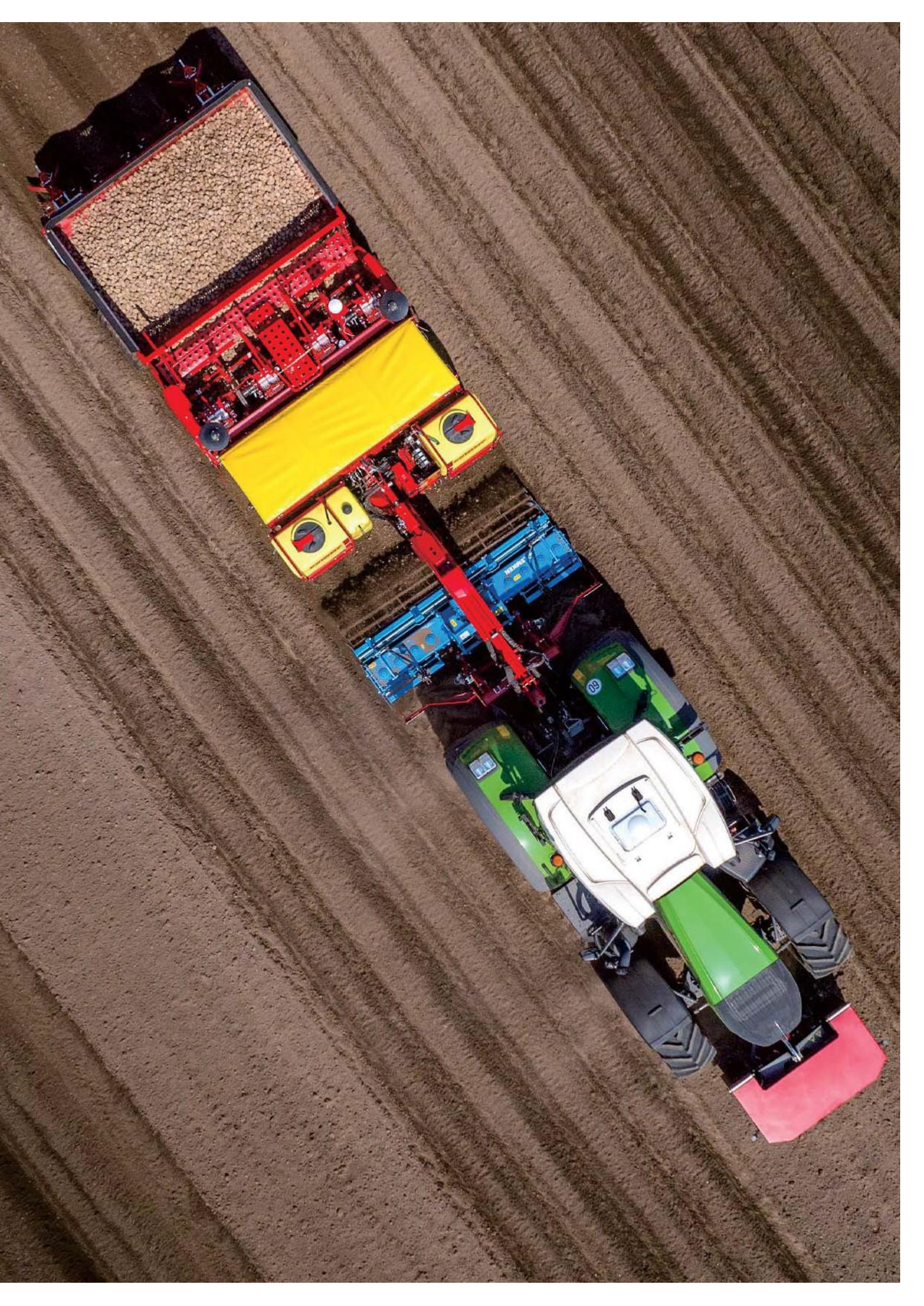
タンクシステム

必要に応じて、PRIOS 440は液体薬品（イモに塗布される）用の取り付けキットと畦の中に適用される液体薬品用の取り付けキットを組み込むことができます。取り付けキット両方のコンビネーションも可能で、タンクシステムに簡単に再度取り付けができます。



多用途なアタッチメントオプション

PRIOS 440は、土壌の耕起インプリメントのための中間フレーム付のグースネックドロワー、機械的に伸縮するドロワーと機械的に伸縮するステアリングドロワーを含む、多用途なトラクターアタッチメントグースネックを提供します。









オフセット調整可能なフレーム(オプション)

新しい調整可能なフレームは、ドロバーをより外側にシフトすることができます。オフセットでの植えつけ時にトラクターへの負担を低減するための追加のサポートホイールを備えています。



油圧中央リッジ形成ボディー(オプション)

中央畦形成ボディーにより、不均一な播種床の上でさえも、大ボリュームな畦を実現できます。それらは異なる地面の形に合わせるために、油圧的に高さを調整することができます。このことは播種床の安定した構造を実現し、それによってより良い水の分配、給気そして種イモへの栄養素の供給ができるようになります。



セパレート深度ガイダンス

新しいマシンは、2つの播種床ごとのためのファローオープナーの、独立した深度コントロールを備えています。これにより、均でない面の上であろうと、マシンがイモのための精密な播種深度を達成することができます。播種床ごとに1つのスキッドを使用し、より正確な深度コントロールのために播種床をスキャンします。加えてイモの覆土は畦形成ユニットの正面のウルトラソニックセンサーを使用して計測されます。



新しいシャーシ

播種床耕起用のPRIOSは38インチタイヤを伴う2ホイールシャーシを備えています。新しいアクスルのおかげで、 $\pm 30^\circ$ の大きな操舵角度が今や可能になり、それは最も狭いスペースの中でさえも最大の操作性を得られるようにします。これは特に小さな枕地に有利です。



デフレクタープレート

肥料アウトレットとファローオープナーのための、特別に設計された土壌ガイドプレートは、可能な限り最良の方法で土壌を播種床にとどめ、理想的なイモの成長を促すためのオプションとして設定できます。これらの追加の特徴は、より健康で力強い植物の成長に貢献します。





場所を特定して働く

アプリケーションカードを使用して、最大2つまでのアプリケーションを場所特定ベースで同時にコントロールすることができます。たとえば、イモの間隔開けと肥料の量は、対応するアプリケーションカードベースで管理できます。（オプション）



完全にセクションごとの管理が可能

費用と資源の削減のため、肥料ボックス、バレルシステムと植えつけエレメントはスイッチのオン/オフをお互いに独立して、それぞれの畦ごとにセクションコントロール（いわゆる「Multiboom機能」付き単畦スイッチのオン/オフ）を通じて行うことができます。（オプション）
これは、特にスプレートラックを作る時、または、ウェッジ（くさび）型の圃場に播種をするときに、環境への栄養素の投入量を減らすことができます。



PRIOS 440

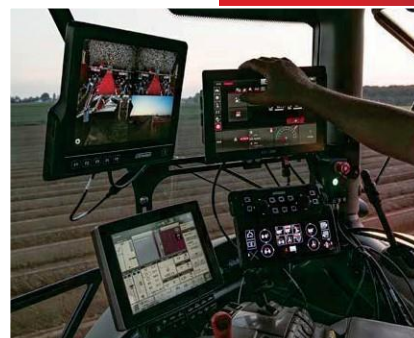
「見たい情報を望むスタイルで確認できます」

5つのカメラからなるSmartViewビデオシステムのおかげで、すべての関連する機能は恒久的に視界にとどまります。ライブスローモーションのような多くの機能で、その大きなディスプレイは自由にカスタマイズできます。暗闇でのオールラウンドな視認性もまた、新しいLED照明環境により、大きく改善しました。



配置が分かりやすく、操作がしやすい

操作は便利で、標準としてISOBUSを通じて行われます。GRIMME Digital Interface (GDI) がオペレーターに、設定するマシンパラメーターの理想的な概観を提供します。オプションとして、すべてのタスクデータと、マシン、ロケーションパラメーターは、ワイヤレスでエンドカスタマーポータルであるmyGRIMMEまたは「agrirouter」を通じて、農場各々のFarm Management Information System (FMIS) へ送ることができます。



| 主要緒元/モデル | PRIOS 440 PRO |
|--------------|----------------|
| 全長※ | 10275 mm |
| 畝幅75cm時の幅 | 2980-3280 mm |
| 畝幅90cm時の幅 | 3880 mm |
| 全高 | 3000 mm |
| 充填高さ | 2100 mm |
| 空車重量※ | 6900 kg |
| バンカー容量(75cm) | 3500 kg |
| バンカー容量(90cm) | 4000 kg |
| 肥料タンク容量 | 1700 kg |
| 畝数 畝幅(標準/OP) | 4畝 75 cm/90 cm |
| アタッチメント | カテゴリ 3,4 |
| ドローバータイプ | グースネック |
| タイヤサイズ | 275/80 R20 |
| 必要馬力(土耕起無し) | 200PS以上 |

※オプション、装備品により異なります

交通安全宣言

日本ニューホランドの社員は、交通事故や違反で皆様にご迷惑をおかけしないためにも、社速度を厳守します。また、運転中の携帯電話の使用を控えていただきます。

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-43-2151

月曜～金曜(祝祭日除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

このカタログに使用されている写真は海外仕様のため、日本仕様とは一部異なる場合があります。

下記から日本ニューホランドの最新情報をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



農作業安全のワンポイント〈取扱説明書の熟読を〉

操作ミスは作業効率を悪くするばかりでなく、事故にもつながりかねません。機械の性能を最大限に発揮させ、安全な作業を行うために、トラクターや作業機に貼付されている安全ラベルや取扱説明書をよく読み、正しい取扱いを心掛けましょう。



日本ニューホランド株式会社

お問い合わせ